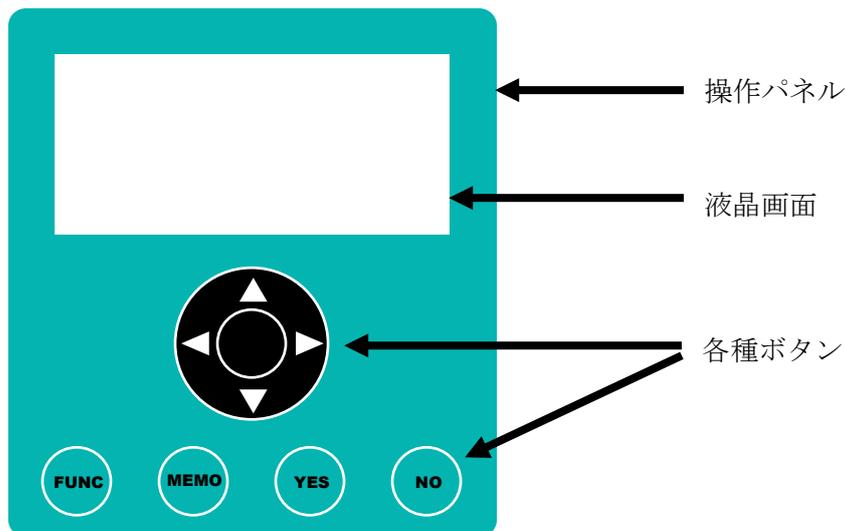


# デジタル糖度・酸度計 FT-1+ 操作説明

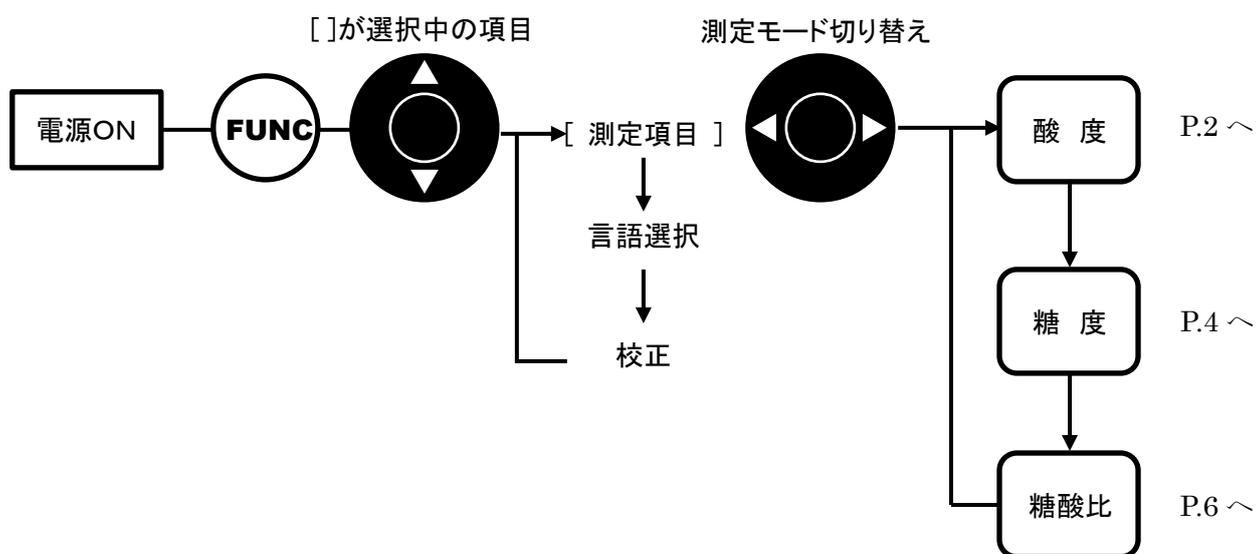


## 電源 ON/OFF

電源 ON : 操作パネルのいずれかのボタンを押すと、電源が入ります。

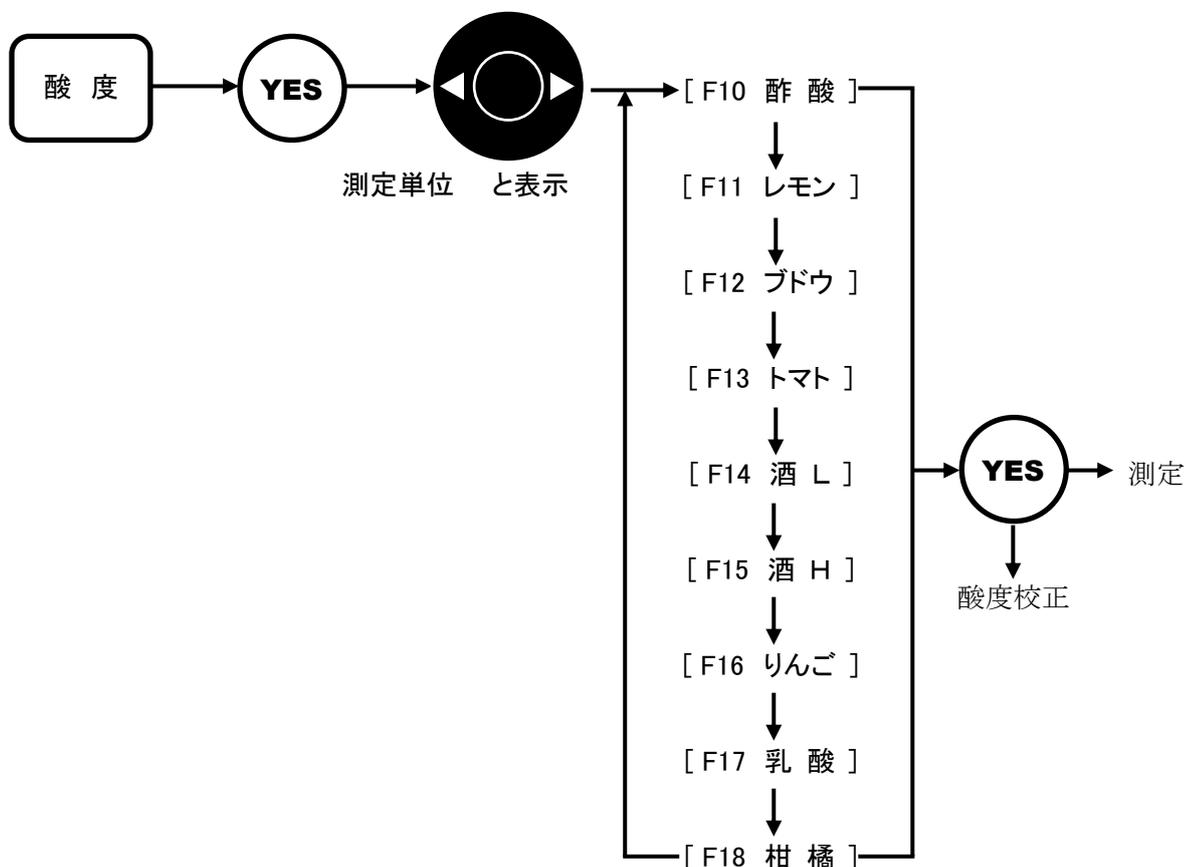
電源 OFF : **NO** ボタンを押し続けると電源が切れます。

## 測定モード切り替え

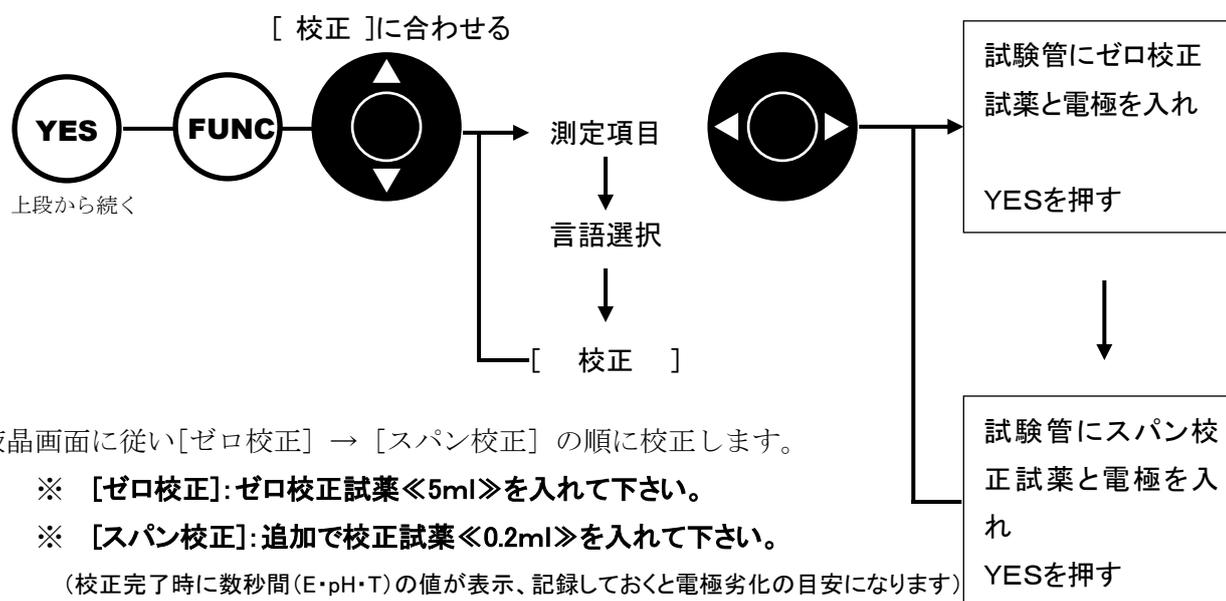


## 酸度測定

※ 酸度を計測する場合、必ず最初に校正を行ってください。(連続して計測する場合は、校正は必要ありません。)



## 酸度校正



液晶画面に従い[ゼロ校正] → [スパン校正] の順に校正します。

※ [ゼロ校正]: ゼロ校正試薬≪5ml≫を入れて下さい。

※ [スパン校正]: 追加で校正試薬≪0.2ml≫を入れて下さい。

(校正完了時に数秒間(E・pH・T)の値が表示、記録しておくで電極劣化の目安になります)

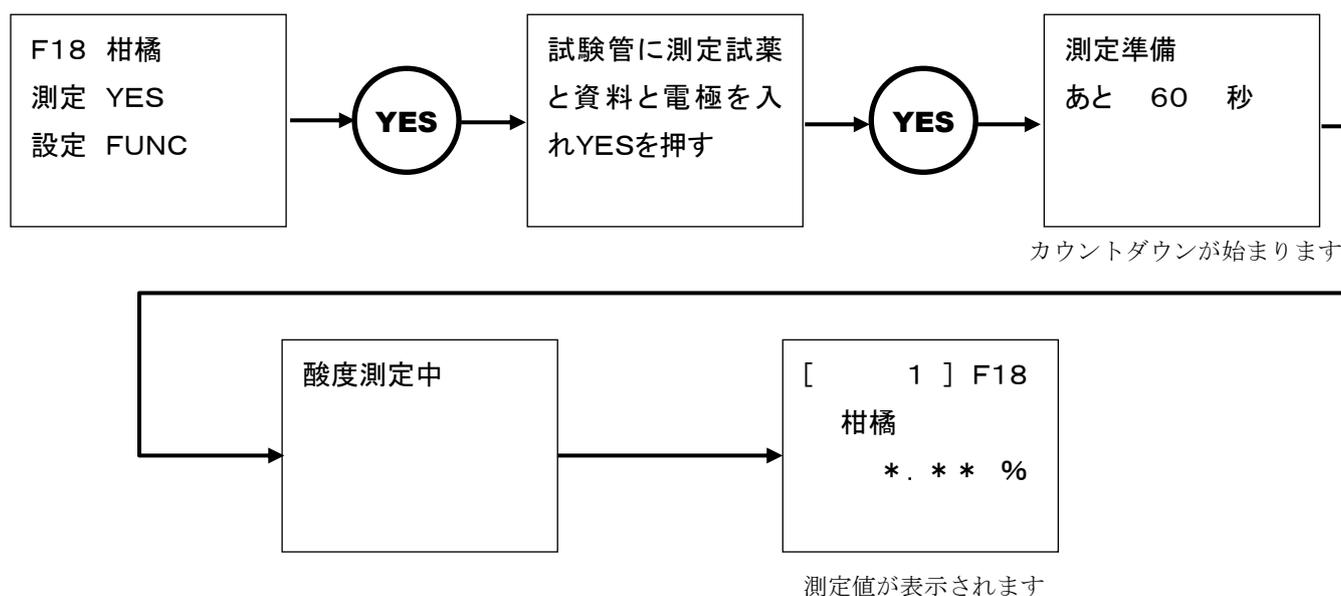
## 測定(酸度)

校正が終了すると **YES** で選択した測定単位に戻ります。

※ 測定単位選択後、すぐに測定する場合も下記の表示画面になります。

例：〈測定単位＝柑橘〉

(表示されたガイドに従い測定をします)



同じ測定単位を連続して測定する場合は

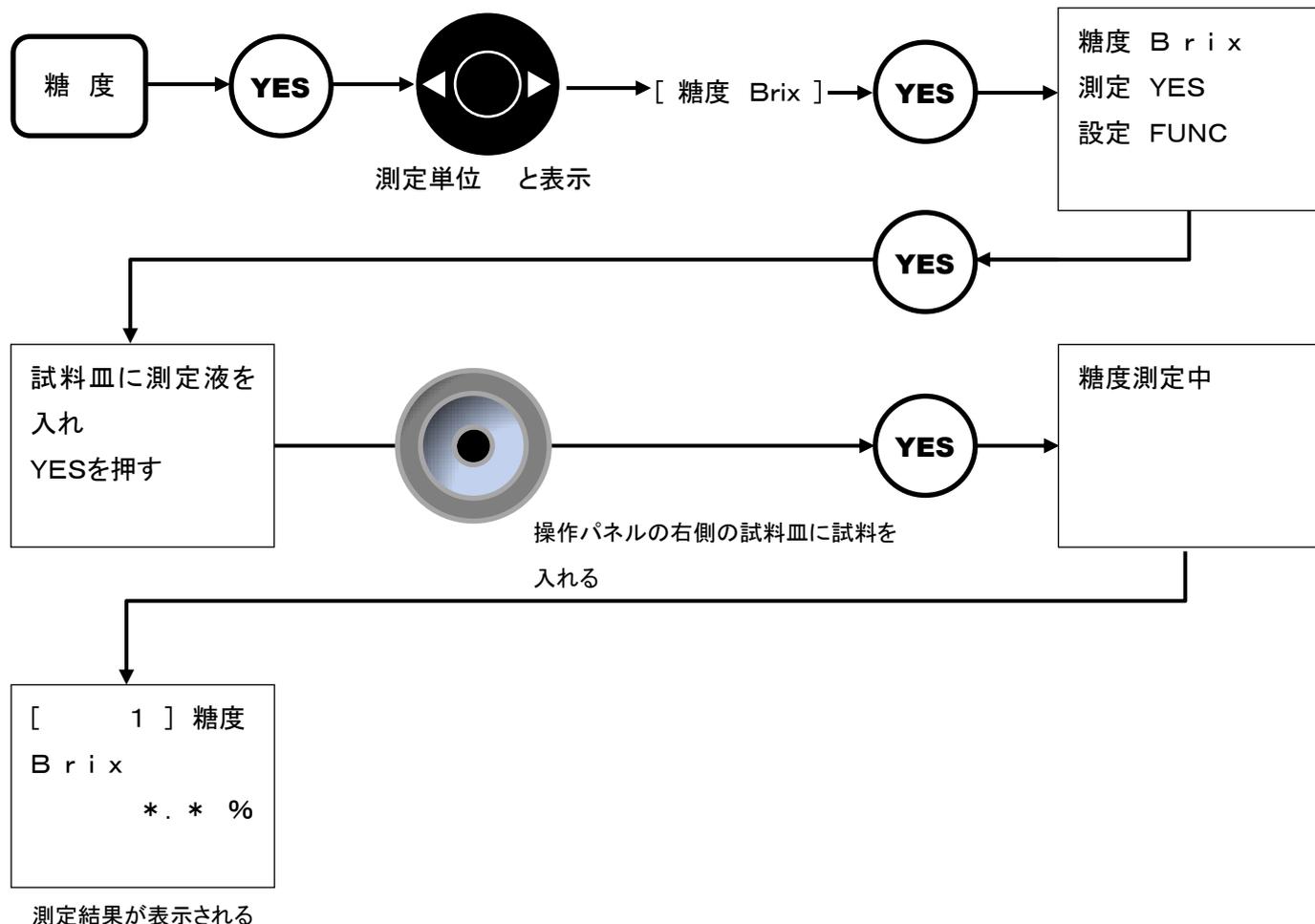
**YES**

異なる測定単位・測定モードを選択する場合は

**FUNC**

終了する場合は **NO** を押し続けてください。

# 糖度測定



同じ測定単位を連続して測定する場合は

**YES**

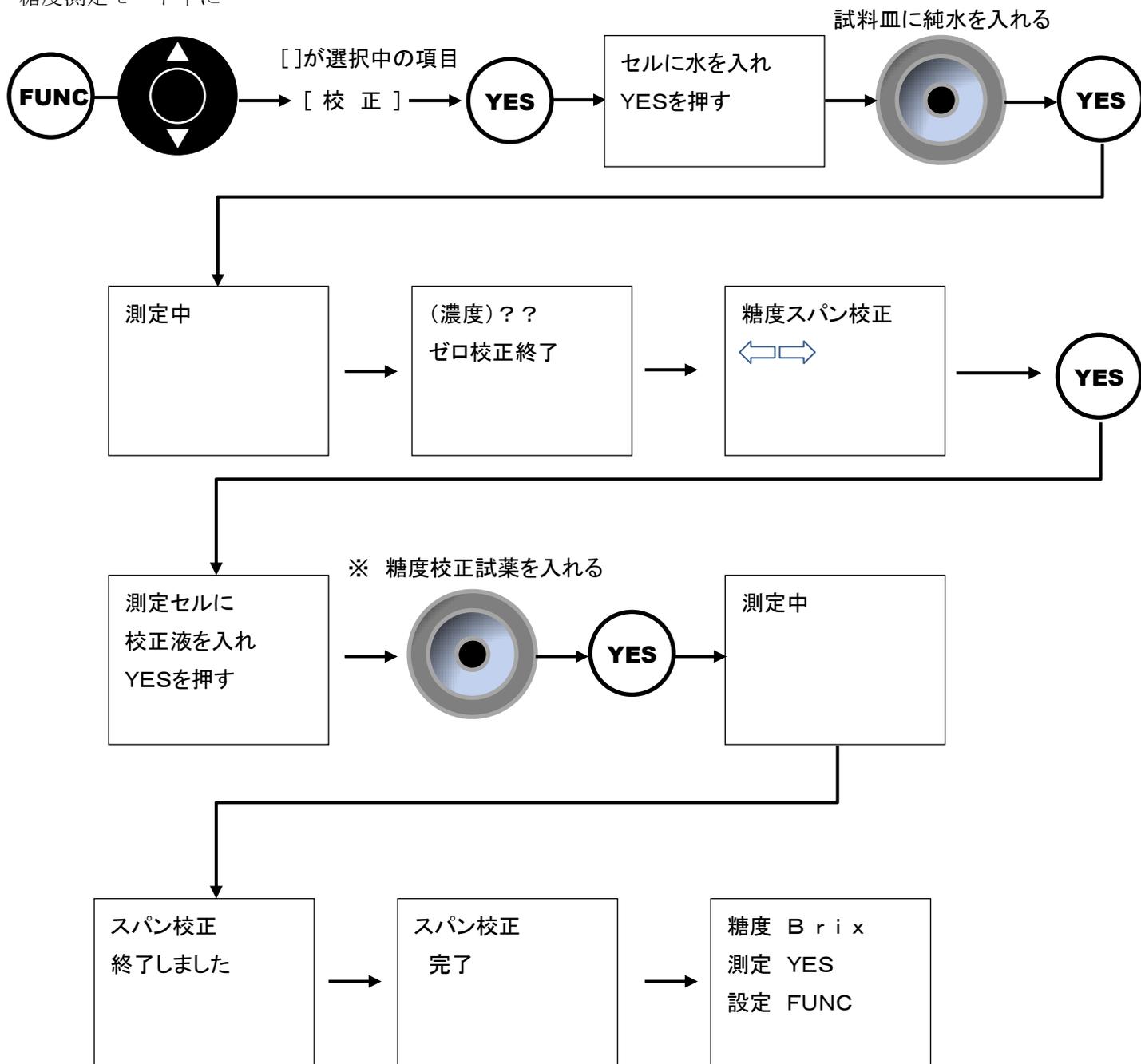
異なる測定単位・測定モードを選択する場合は

**FUNC**

終了する場合は **NO** を押し続けてください。

# 糖度校正

糖度測定モード中に



※ 糖度校正試薬は、腐りやすいため附属及び販売はしていません。

【校正液作成方法】： 特級スクロース(ショ糖)粉末 40gをカラス容器に採り、純水にて 100g にメスアップ(ショ糖と純水が合計重量 100g)して下さい。これが、糖度スパン調整試薬となります。調整後は、冷蔵庫に保管し、スパン校正時は室温に戻してからご使用ください。

※ 補足事項： 濃度の高い溶液を試料皿に載せた後は純水で濡らしたきれいなウエス等で何度かに分けてふき取るようお願い致します。粘度があるものは、セルに残留することがあり測定に支障をきたす場合があります。

## 糖酸比

P.2 の〈酸度測定〉を参照し、[ F10 酢酸 ] ～ [ F18 柑橘 ]のいずれかを選択します。

P.1 の〈測定モード切り替え〉を参照し、[ 糖酸比 ]を選択します。

試験管に測定試薬  
と試料と電極を入  
れ 次に

糖度試料皿に測定  
液を入れてYES  
を押す

と表示されるので、ガイドの通り試料や測定試薬を用意します。

準備ができたなら、**YES** を押します。

測定準備  
あと 60 秒

酸度測定中

糖度測定中

60 秒からカウントダウンが  
始まります

[ 1]糖酸比  
糖 ※. ※ %  
酸 ※. ※※%  
比 ※ ※※

と測定値が表示されます。

同じ測定単位を連続して測定する場合は

**YES**

異なる測定単位・測定モードを選択する場合は

**FUNC**

終了する場合は **NO** を押し続けてください。

## MEMO ボタンの機能

測定終了後  を押すと、測定値が 99 件までメモリーに記録されます。

例えば

[ 1 ] F18  
柑橘  
\*. \*\* %

や

[ 1 ] 糖度  
Brix  
\*. \* %

などの測定値が表示されている時に

 を押すと

SampNum 1

[ MEMO ]

Samp 1  
を記録しました

と表示され、測定値が記録されます。

同じ測定単位を連続して測定する場合は

 YES

MEMO した測定値を確認する場合は、



を押すと表示されます。

※複数 MEMO が記録されている場合は、値がスクロールします。

MEMO を消去する場合は、 を長押しします。

メモリーを消去し  
ますか？

と表示されたら

 YES

を押すと、MEMO データがすべて消去されます。

※ 糖酸比の測定値は、MEMO できません。

## オートパワーOFF 機能

操作をしない状態が下記の時間経過すると、オートパワーOFF機能が作動します。

バックライト OFF	約 4 0 秒
オートパワー OFF	約 2 分 3 0 秒